

令和6年度

事業報告書



公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

1 令和6年度事業報告

I 組織と運営の状況

1. 監査会・運営委員会・幹事会について

開催日	会議名	会場	主な内容
令和6年 5月22日	監査会	埼玉教育会館	・令和5年度事業報告並びに決算報告に関する件
令和6年 5月28日	第140回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和5年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件
令和6年 5月30日	第230回 幹事会	埼玉教育会館	・令和5年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件 ・教育研究助成事業規程及び教育文化事業規程の運用について承認する件
令和6年 10月29日	監査会	埼玉教育会館	・令和6年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件
令和6年 11月22日	第141回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和6年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件 ・令和7年度「福祉事業」における変更点に関する件
令和6年 11月26日	第231回 幹事会	埼玉教育会館	・令和6年度「教育研究助成事業」及び「教育文化事業」に係る選考委員会での選考結果の決議に関する件 ・令和6年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件 ・令和7年度「福祉事業」における変更点に関する件
令和7年 3月6日	第142回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和6年度補正予算案の承認に関する件 ・令和7年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・幹事・監査の選任に関する件
令和7年 3月11日	第232回 幹事会	埼玉教育会館	・令和6年度「教育研究助成」のうち「はばたき」応援プロジェクトに係る選考委員会での選考結果の決議に関する件 ・令和6年度補正予算案の承認に関する件 ・令和7年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・運営委員の選出に関する件 ・役員の選任に関する件

2. 教育振興事業選考委員会について

奨学金の貸与・給付及び研究・実践活動への助成等、教育振興事業の適正な執行を図るため、委員会において審査・選考を行いました。

開催日	会議名	会場	主な内容
令和6年 5月9日	第1回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和6年度後期送金分貸与奨学生の審査・選考
令和6年 6月24日	第2回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和6年度教育研究助成事業及び教育文化事業の審査・選考
令和6年 7月24日	第3回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和6年度高校生(前期募集)奨学金給付事業の審査・選考
令和6年 11月6日	第4回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和7年度「大学給付奨学生(予約型)」の第一次審査・選考(書類)
令和6年 12月12日	第5回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和7年度「大学給付奨学生(予約型)」の第二次審査・選考(面接) ・令和6年度「はばたき」応援プロジェクトの審査・選考
令和7年 3月10日	第6回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和7年度前期送金分貸与奨学生の審査・選考 ・令和6年度高校生(後期募集)及び中学生奨学金給付事業の審査・選考

令和5年度・令和6年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿

氏名	所属 ・ 職名
山本 和人	委員長・東京家政大学名誉教授
赤松 峰親	副委員長・元埼玉県立熊谷高等学校長
金田 佳子	元本庄市立北泉小学校長
野口 浩	元さいたま市立与野東中学校長
伊藤 えつ子	元埼玉県立八潮高等学校長
須郷 恵子	元さいたま市立蓮沼小学校長

(順不同・敬称略)

3. 教育実践報告審査委員会について

本県教育の向上発展に寄与するため、個人(グループ)または学校を対象として教育実践報告を募集し、委員会において審査・選考を行いました。

開催日	会議名	会場	主な内容
令和6年 9月5日	第1回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和6年度教育実践報告審査及び選考方法について
令和6年 10月18日	第2回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和6年度教育実践報告審査・選考
令和6年 11月27日	教育実践報告表彰式	埼玉会館	令和6年度教育実践報告受賞者表彰式

令和6年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿

氏名	所属 ・ 職名
戸部 秀之	委員長・国立大学法人 埼玉大学教育学部長
馬場 敏男	副委員長・埼玉県立総合教育センター総合企画長
岩本 好則	川口市立元郷南小学校長（埼玉県公立小学校校長会副会長）
家徳 丈夫	桶川市立桶川東中学校長（埼玉県中学校長会副会長）
内田 正俊	埼玉県立所沢高等学校長（埼玉県高等学校長協会西部地区副会長）
原田 篤	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園校長（埼玉県特別支援学校長会副会長）
三橋 勝美	埼玉県教職員組合専門員
伊藤 稔	埼玉県高等学校教職員組合専門員

(順不同・敬称略)

4. 生涯学習実践作文審査委員会について

県民(埼玉県在住・在勤)を対象に生涯学習に対する実践作文を募集し、委員会において審査・選考を行いました。

開催日	会議名	会場	主な内容
令和6年 9月6日	第1回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和6年度生涯学習実践作文審査及び選考方法について
令和6年 10月18日	第2回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和6年度生涯学習実践作文審査・選考
令和6年 11月27日	生涯学習実践作文表彰式	埼玉会館	令和6年度生涯学習実践作文受賞者表彰式

令和5年度・令和6年度 生涯学習実践作文審査委員会 委員名簿

氏名	所属 ・ 職名
山本 和人	委員長・東京家政大学名誉教授
大磯 宏	副委員長・元埼玉県公立小学校校長会事務局長
渡邊 秀昭	元埼玉県立川口北高等学校長
小川 三代子	元加須市立三俣小学校長
加藤 美幸	元朝霞市立朝霞第二小学校長
伊地知 幸子	埼玉県PTA連合会事務局長
川田 清隆	埼玉県高等学校PTA連合会事務局長

(順不同・敬称略)

Ⅱ 教育振興事業

1. 奨学事業

(1) 貸与事業

大学等に進学する県内在住者に奨学資金として100万円まで無利息で貸与し、卒業後8年以内、(ただし貸与金が100万円の場合は10年以内)の年賦で返還する奨学事業を下記のとおり行いました。

貸与を希望する適格者全員に貸与いたしました。

(貸与奨学金事業は、日教弘本部の事業ですので、決算書には記載しておりません)

① 貸与の状況

年度		前年度末貸与	当年度貸与	当年度返還	年度末貸与者
令和6年度	人数	292 名	34 名	完済 29 名	297 名
	金額	175,498,388 円	28,750,000 円	31,665,623 円	172,582,765 円
令和5年度	人数	284名	34 名	完済 26 名	292 名
	金額	179,302,930 円	27,970,000 円	31,774,542 円	175,498,388 円

② 奨学生の学校種別状況

年度	令和6年度		令和5年度	
学校種別	人数	金 額	人数	金 額
大 学	31 名	26,250,000 円	29 名	25,220,000 円
その他	5 名	2,500,000 円	7 名	2,750,000 円
合 計	36 名	28,750,000 円	36 名	27,970,000 円

※令和5・6年度ともに追加貸与者2名を含みます。

(2) 給付事業

本県に所在する国公立高等学校・特別支援学校・中学校・中等教育学校に在学する生徒で、原則として以下のア、イ、ウに該当する者に、選考のうえ返還を要しない奨学金を給付します。また、令和4年度からエ、大学給付奨学生(予約型)の審査・選考を行っています。

ア、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため公的支援を受けているが、生活が困窮している家庭の子どもで、修学の意欲が旺盛で、高等学校等へ進学する中学3年生のうち校長から推薦のあった者を対象とします。

審査・選考のうえ、1人5万円ずつ、329名に1,645万円を給付しました。

年度	令和6年度	令和5年度
人数	329 名	314 名
金額	16,450,000 円	15,700,000 円

イ、家庭の経済環境が悪化し、学資金の支払い等が困難になっているが、修学意欲が旺盛な高等学校第2・3学年の生徒(定時制・通信制課程においては相当学年)のうち、校長から推薦のあった者を対象とします。なお、生徒の家庭においては、公的な支援を受けているものとします。特別支援学校にあっては、上記の条件に準ずる者とします。

審査・選考のうえ、1人10万円ずつ、152名に1,520万円を給付しました。

年度	令和6年度	令和5年度
人数	152 名	150 名
金額	15,200,000 円	15,000,000 円

ウ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため公的支援等を受けているが、修学意欲が旺盛で、更に上級学校(国公立大学・短期大学・専修学校専門課程)へ進学する成績優秀な(評定平均値3.8以上)高等学校第3学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象とします。特別支援学校にあっては、上記の学校に準ずる者を対象とします。

審査・選考のうえ、1人20万円ずつ、79名に1,580万円を給付しました。

年度	令和6年度	令和5年度
人数	79 名	79 名
金額	15,800,000 円	15,800,000 円

エ、令和4年度から、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、返還義務のない奨学金を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援する、大学給付奨学生(予約型)の審査・選考を行っています。奨学生一人に対して月額3万円(4年間で144万円)を支給します。令和6年度は審査・選考により採用内定者8名を決定し、給付は令和7年度から開始します。

2. 教育研究助成事業

学校教育の充実・発展に寄与するため、以下の事業を行いました。

(1) 学校課題研究助成事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合 計	助成金額
令和6年度	647	326	30	21	15	1,039	3,925万円
令和5年度	666	333	24	16	15	1,054	4,159万円

(2) 環境教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合 計	助成金額
令和6年度	322	113	11	3	9	458	1,718万円
令和5年度	313	117	9	1	10	450	1,716万円

(3) 国際理解教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合 計	助成金額
令和6年度	32	17	14	5	1	69	249万円
令和5年度	30	10	10	1	2	53	211万円

(4) キャリア教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合 計	助成金額
令和6年度	35	71	15	8	2	131	468万円
令和5年度	34	53	14	3	1	105	405万円

(5) 防災教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合 計	助成金額
令和6年度	79	52	1	0	2	134	490万円
令和5年度	73	61	2	5	1	142	538万円

(6) ICT活用教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合 計	助成金額
令和6年度	198	107	11	5	1	322	1,168万円
令和5年度	231	109	8	12	0	360	1,446万円

(7)教育関係団体への助成

助成状況

令和6年度	24団体	555万円
令和5年度	26団体	585万円

教育関係助成団体一覧

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	埼玉県公立小学校校長会	13	埼玉県教職員組合
2	埼玉県中学校長会	14	埼玉県高等学校教職員組合
3	埼玉県高等学校長協会	15	埼玉県高等学校定時制通信制校長会
4	埼玉県公立小中学校教頭会	16	埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
5	埼玉県高等学校等副校長・教頭会	17	埼玉県養護教諭会
6	埼玉県公立高等学校事務職員会	18	埼玉県学校保健主事会
7	埼玉県公立小・中学校女性校長会	19	埼玉県特別支援学級等設置校校長会
8	埼玉県公立小・中学校女性教頭会	20	埼玉県高等学校等女性管理職の会
9	埼玉県特別支援学校校長会	21	埼玉教職員組合
10	埼玉県公立学校事務長会	22	さいたま教育文化研究所
11	さいたま市中学校長会	23	埼玉県国公立幼稚園・こども園長会
12	埼玉県特別支援学校副校長・教頭会	24	埼玉県町村教育長会

(8)連合教育研究会等への助成

助成状況

令和6年度	41団体	670万円
令和5年度	41団体	670万円

(9)全国・関東ブロック研究大会への助成

助成状況

令和6年度	10団体	115万円
令和5年度	12団体	133万円

(10)「はばたき」応援プロジェクトの実施

小学校6年生の卒業に向けた特色ある取組等への支援として助成しました。

助成状況

令和6年度	77校	231万円
令和5年度	79校	237万円

(11)教育実践報告への助成

教育に関する実践報告を、県内の学校・教育機関の個人(グループを含む)または学校を対象として募集し、教育実践報告審査委員会で審査・選考のうえ、優れたものに助成金を贈り表彰しました。令和3年度に新設した若手教職員(年齢35歳未満の教職員等)を対象とした「ヤング部門」も含め「一般部門」「学校部門」と3つの部門としています。

なお、募集については令和6年4月1日付け文書及び参事・「教弘会報埼玉」等による広報を行いました。

応募・助成状況

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合 計
令和6年度	ヤング	8	8	3	2	0	21
	一 般	21	4	6	6	0	37
	学 校	4	1	0	1	1	7
	合 計	33	13	9	9	1	65

助成件数 65 件 助成金額 1,848,220円

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合 計
令和5年度	ヤング	25	7	1	3	0	36
	一 般	14	3	4	5	0	26
	学 校	3	3	1	0	1	8
	合 計	42	13	6	8	1	70

助成件数 70 件 助成金額 1,858,220円

(12)「研究・実践成果報告集13」の刊行

教育研究助成事業の助成対象校(学校課題研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT 活用教育)の優れた研究・実践をまとめ、学校・教育機関等に計1,850部配付し、教育の振興に寄与しました。

(13)教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会の開催

埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県都市教育長協議会及び埼玉県町村教育長会の後援の下、埼玉県教育の充実・発展に寄与することを目的として教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会を下記の通り開催しました。

期 日：令和6年10月23日(水)

会 場：埼玉会館 大ホール

演 題：世界が絶賛する日本のスゴイところ

講 師：株式会社ジャーマン・インターナショナル

代表取締役社長 ルース・マリー・ジャーマン 氏

(14)公益財団法人日本教育公務員弘済会の「日教弘教育賞」募集への協力

研究実践論文3編を推薦し、3編とも「奨励賞」を受賞しました。

(15)公益財団法人東京海上日動教育振興基金の教育研究論文募集への協力

教育研究論文9編を推薦し、9編とも「採択」されました。

(16)新設校への助成(助成は株式会社 埼玉教弘)

令和6年度新設校 日高市立高根小中学校、埼玉県立上尾かしの木特別支援学校大宮商業分校、埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校新座柳瀬分校、埼玉県立三郷特別支援学校三郷北分校に記念品を贈呈しました。

なお、平成31年4月に県内初の夜間中学校として開校した川口市立芝西中学校陽春分校には、学校からの希望により新校舎完成を待って令和6年度に記念品を贈呈しました。

助成金額 432,595円

3. 教育文化事業

(1)教育文化講演会(地域教育研究会主催)に対する助成

助成状況

令和6年度	4団体	330,000円
令和5年度	14団体	1,180,000円

(2)教育文化事業団体(学校応援団含む)への助成

助成状況

令和6年度	13団体	950,000円
令和5年度	19団体	1,130,000円

(3)「弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフル コンサート」への助成

助成状況

令和6年度	14校	4,983,384円
令和5年度	13校	5,391,254円

※音楽著作物使用料を含む

(4)生涯学習実践作文の募集

テーマ 「生涯学習の実践～人と人との『つながり』づくり・地域づくりに向けて～」

募集 募集案内の県内教育機関等への配布及びホームページ等での広報

応募・助成状況

	応募数	助成数	助成金額
令和6年度	29編	15件	416,370円
令和5年度	19編	10件	341,370円

(5)教弘文庫の刊行と配布

令和5年度に地域教育研究会等が実施した「教育文化講演会」の講演要旨、並びに「教育実践報告」「生涯学習実践作文」から優れた実践報告・実践作文を集録した教弘文庫を刊行し、各学校・教育機関等へ贈呈しました。(4月22日刊行)

刊行物	刊行部数
教弘文庫121 「教育文化講演集39」	3,200部
教弘文庫122 「教育実践報告集55」	2,200部
教弘文庫123 「生涯学習実践作文集34」 自分の学び＝生涯学習を生かした課題解決の実践	11,500部

※ 教弘文庫122「教育実践報告集55」は教育研究助成事業となります。

Ⅲ 福祉事業

1. 祝品・記念品の贈呈

(1) 結婚祝品の贈呈(商品券)

結婚された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和6年度	令和5年度
人数	392名	403名

贈呈額 1,960,000円

(2) 出産祝品の贈呈(図書カード)

お子さんが誕生された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和6年度	令和5年度
人数	540名	707名

贈呈額 1,595,700円

(3) 60歳記念品の贈呈(新設)(商品券)

令和6年度から、60歳を迎える教弘保険1口以上加入者への記念品贈呈を開始しました。
令和6年度は662名に贈呈しました。

また、令和6年度の特例措置として、61歳を迎える教弘保険1口以上加入者708名にも記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和6年度
人数	1,370名

贈呈額 4,110,000円

(4) 教弘保険新規加入者への記念品の贈呈(レザーメモカバー)(助成は株式会社 埼玉教弘)

教弘保険新規加入者(10口以上)の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和6年度	令和5年度
人数	867名	873名

贈呈額 997,050円

(5) 教弘保険継続者への記念品の贈呈(今治タオル)(助成は株式会社 埼玉教弘)

教弘保険継続者(5年・10年・15年・20年・25年・30年)に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	5年	10年	15年	20年	25年	30年	合 計
令和6年度	865名	856名	693名	382名	170名	206名	3,172名
令和5年度	966名	912名	657名	269名	168名	259名	3,231名

贈呈額 4,123,600円

2. 健康保持増進

(1) サッカー観戦チケット、映画鑑賞券の贈呈

現職の教弘保険加入者(10口以上)に、サッカーJリーグ浦和レッズ観戦チケット及びイオンシネマ、ユナイテッドシネマ映画鑑賞券を抽選により贈呈しました。

また友の会会員にも映画観賞券を抽選により贈呈しました。

贈呈人数

	浦和レッズ観戦	イオンシネマ	ユナイテッドシネマ	合計
人数	18名	100名	100名	218名

贈呈額 773,644円

(2) 人間ドック等受診者への補助

人間ドック・脳ドック・婦人科検診を受診した教弘保険加入者に、その1種類(年度内1回)について、個人負担金の一部を基準により補助しました。

なお、令和6年度から補助の資格・条件・金額を見直し、現職者と退職者(友の会会員)の基準を同一にしました。

① 現職者補助人数

年度 金額	令和6年度	令和5年度
5,000円	3,777名	—
4,000円	1,005名	—
3,000円	223名	—
2,000円	40名	—
その他	146名	—
合計	5,191名	4,794名

※令和5年度は補助の資格・条件・金額が異なるため合計人数のみ記載

② 退職者(友の会会員)補助人数

年度 金額	令和6年度	令和5年度
5,000円	1,285名	—
4,000円	951名	—
3,000円	475名	—
2,000円	6名	—
その他	25名	—
合計	2,742名	2,795名

※令和5年度は補助の資格・条件・金額が異なるため合計人数のみ記載

①+② 補助額 35,839,863円

(3)大腸がん予防検診等の実施

退職者(友の会会員)とその家族を対象に、一般財団法人日本健康増進財団の「大腸がん検査」、「前立腺がん検査」、「ピロリ菌抗体検査」、「ペプシノゲン検査(胃)」を案内し、のべ295人が受診しました。

(4)ウオーキング(歩け歩け)運動への参加支援

当支部が埼玉県ウオーキング協会の賛助会員となり、教職員の歩け歩け運動への参加による健康づくりを支援しました。

3. 福利厚生

(1)厚生施設利用の促進

紀州鉄道・リステル・東急ハーヴェストクラブの法人会員権に基づく利用券を効率的に活用し、宿泊等福利厚生施設の広報に努め、利用の促進を図りました。

なお、令和5年度から利用対象者を「教弘保険加入者・同行家族等のみ」と変更しました。

利用人数

	令和6年度	令和5年度
紀州鉄道	302名	235名
リステル	38名	42名
東急ハーヴェスト	88名	77名
合計	428名	354名

(2)宿泊施設等の利用と補助

広報誌等を通して協定している旅館・民宿等の利用促進に努めました。

利用人数

	令和6年度			令和5年度		
	本人	家族	合計	本人	家族	合計
埼玉支部協定施設	127名	71名	198名	109名	98名	207名
日教弘指定施設	111名	53名	164名	89名	25名	114名
合計	238名	124名	362名	198名	123名	321名

補助人数

金 額		年 度	令和6年度	令和5年度
教弘保険加入者	3,000円		111名	101名
教弘保険加入者 (7月～8月利用者)	5,000円※		127名	97名
合計			238名	198名

※令和2年度から7月～8月の2ヶ月間のみ、1泊につき補助額を2,000円増額し5,000円としています。

補助額 968,000円

4. 弘済会埼玉友の会活動の推進

超高齢社会にあつて、退職後の生活設計は一層重要となっています。退職後はどう生きるか、どのような生き甲斐を見つけるか、共に考え、活動しました。

(1) 組織

退職後も継続した教弘保険加入者で組織し、弘済会埼玉支部と弘済会埼玉友の会が一体となって活動を進めています。

令和7年3月31日現在、14支部731班（世話人554人）、会員13,814人です。うち、準会員は331人です。

(2) 運営・活動

全県世話人会は、人数制限を解除して開催しました。幹事会はコロナ禍以前の形態（正副会長・正副支部長が参加）で実施しました。支部総会は5年ぶりに全14支部で実施しました。

開催日	会 議 名	場 所
令和6年5月16日	全県世話人会	埼玉会館小ホール
5月24日	大里西支部総会	キララ上柴・上柴公民館
5月26日	大里東支部総会	熊谷市江南公民館（ピピア内）
5月31日	入間西支部総会	飯能市富士見地区行政センター
5月31日	秩父支部総会	秩父市福祉女性会館
6月 1日	児玉支部総会	本庄市民文化会館
6月 3日	入間東支部総会	クラッセ川越
6月 3日	比企支部総会	松山市民活動センター
6月 3日	埼玉葛北支部総会	久喜総合文化会館
6月 5日	北足立中支部総会	埼玉教育会館
6月 5日	北埼玉支部総会	ワークヒルズ羽生
6月 6日	北足立南支部総会	ジブラルタ生命保険(株)川口第一営業所
6月 6日	北足立北支部総会	北本市文化センター
6月 8日	埼玉葛南支部総会	春日部市民文化会館
6月15日	大宮支部総会	プラザノース
7月19日	幹事会	埼玉教育会館
令和7年1月24日	常任幹事会	埼玉教育会館

(3) 友の会費

友の会費として11,453,875円を支出しました。内訳は、予算割当額(友の会事務局へ)5,420,000円、その他経費6,033,875円です。

《参考》 友の会事務局から各支部へ下表のとおり送金しました。

種類	令和6年度	令和5年度
支部運営費助成金	2,402,500円	2,718,760円
支部総会助成金	980,000円	980,000円
「友の会だより」配付助成金	—	2,504,724円
「支部だより」配付助成金	1,671,230円	—
クラブ活動費助成金	10,000円	40,000円
支部名簿作成助成金	120,000円	140,000円
「支部だより」発行助成金	110,000円	90,000円
支部保険相談会開催助成金	90,000円	90,000円

5. (株) ツヴァイとの提携による結婚紹介

(株)ツヴァイと法人契約を結び、当支部会員及びその家族が入会するときに、入会時初期費用が11,000円割引となります。令和7年3月末現在697名(累計)の方が入会され、305人の方が成婚等に至り退会しています。

なお、当支部には加入者の性別・年代のみ通知されることとなっており、加入者のプライバシーは厳重に守られています。

6. 生涯福祉推進事業

(1) 小・中・高・特支の校長会代表と弘済会との「教職員の生涯福祉を考える教育懇談会」を7月22日(月)、埼玉教育会館に於いて開催しました。

(2) 介護福祉施設(ALSOK介護(株))の紹介事業を行いました。

7. 弔慰金

死亡された教弘保険加入者の方へご香料を手向けることにより弔慰を表しました。

	令和6年度	令和5年度
人数	160名	179名

支給額 1,600,000円

8. 損害保険事業

教職員にとって必要かつ有意義な補償内容の下記保険商品の普及に努めました。

- (1) 教弘まなびやスーパープラン
- (2) 教弘フルガード
- (3) 教職員収入ロングウェイサポート

IV 共済事業（提携保険事業）

教弘保険の普及拡大が、教育の振興及び教育関係者の福祉向上に多大な貢献をしていることを踏まえ、その加入促進に努めるため、当支部の趣旨及び事業に賛同する会員の拡大を図りました。

なお業務は、提携保険会社及び株式会社埼玉教弘に委託しています。(別紙 参考)

V 参事の活動

15名の参事が地区を分担し、学校や地区校長会等において、当支部の諸事業やジブラルタ生命の状況を説明し、弘済会及びその事業に対する教職員の理解と支持を得るよう努めています。またジブラルタ生命との相互の協力体制の確立を目指して、ジブラルタ生命学校担当営業職員(LC)の活動しやすい環境づくりに継続して取り組みました。

今年度は学校での事業説明会を461回、校長会等で134回、合計595回実施し、事業の説明・広報活動を行いました。

また、教育研究助成金決定通知書の伝達などにより、当支部への理解と、LCの支援に努めてきました。

毎月1回参事打合せを行い、当支部の事業周知・教弘保険拡大・学校の状況・ジブラルタ生命各営業所の現況認識等について協議・研修しています。

VI 広報活動

当支部の事業の発展を目指し、「教弘会報埼玉」・「教弘会報埼玉 かわらばん HAPPY VOICE!」を発行し、教育的な共感を呼ぶ記事を中心に事業内容を幅広く紹介し、教弘保険加入者の一層の拡大を図る広報活動を推進しました。

1. 編集方針

- (1) 当支部の事業の発展を目的とする。
- (2) 当支部の事業内容を幅広く具体的に紹介する。
- (3) 生き生きとした教育に関する記事の掲載に努める。
- (4) 多くの教職員の記事を掲載し、親しみのもてる紙面づくりに努める。
- (5) モニターの一層の組織化を進める。

2. 作成広報物

(1) 「教弘会報埼玉」

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
269 (新年度 スタート 号)	令和6年 4月12日 (57,800)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	早く行きたければ、ひとりで行け。 遠くまで行きたければ、みんなで行け。 深谷市立常盤小学校 令和6(2024)年度 弘済会埼玉支部事業計画 令和6年度 参事の紹介 日教弘の会員になりましょう！ 令和6年度「教育実践報告」の募集 について
270 (2024 夏 号)	令和6年 6月17日 (58,000)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	改めて、渋沢栄一翁の教えに学ぶ！！ 川口市立芝西中学校陽春分校 令和6年度 幹事・監査の紹介 令和6年度 新運営委員の紹介 日教弘の会員になりましょう！ 教弘まなびやスーパープラン
271 (2024 新秋号)	令和6年 8月23日 (58,500)	副支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	生まれてきて良かった。 埼玉県立秩父特別支援学校 埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会で 「金融教育コンテンツ」を紹介しました 「映画観賞券」プレゼント 「生涯生活設計セミナー」を開催します。
272 (教育研究 助成特集 号)	令和6年 11月29日 (58,500)	常任幹事挨拶 記事 募集案内	子どもたち・教職員・学校に寄り添う 新設校記念品贈呈 弘済会埼玉支部PRESENTsハートフルコンサート 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会 ジブラルタ社で初任者・中堅教諭が企業体験研修 教職員収入ロングウェイサポート・団体扱自動車保険
273 (新年号)	令和7年 1月10日 (58,500)	支部長挨拶 学校NOW 記事	「最終受益者は子どもたち」の理念を 未来や次の世代に繋げる！！ 埼玉県立川口北高等学校 LCの訪問記 私の出会った素敵な学校 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式 新設校記念品贈呈
274 (春うらら 号)	令和7年 2月21日 (58,500)	副支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	学校に子どもをあわせるのではなく、 子どもにあった学校を！ 松伏町立松伏小学校 新設校記念品贈呈式 弘済会埼玉支部PRESENTsハートフルコンサート 金融教育セミナーが開催されました 教弘まなびやスーパープラン・団体扱自動車保険

※各号点字版7部発行

(2)「教弘会報埼玉 かわらばん HAPPY VOICE！」

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容
7	令和6年 5月10日 (57,800)	・頑張れ！！給付奨学生 ・弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート ・みんなの広場
8	令和6年 9月27日 (58,500)	・夏クイズ2024 クイズ当選者発表！ ・弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート ・みんなの広場
9	令和6年 10月28日 (58,500)	・夏クイズ2024 A賞を贈呈しました！ ・みんなの広場 ・皆さまからのお葉書

※各号点字版7部発行

(3)「弘済会埼玉 友の会だより」

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
73	令和6年 9月2日 (16,400)	会長挨拶 記事 募集案内	「友の会だより」の直送に当たり ～時代の流れに合わせた改善を～ 令和6年度 弘済会埼玉友の会 全県世話人会 令和6年度 支部総会の実施報告 教弘フルガード
74	令和7年 2月3日 (16,500)	副会長挨拶 記事 募集案内	繋がっていることの大切さ 令和7年度 弘済会埼玉友の会の諸事業 令和7年度 弘済会埼玉友の会支部総会一覧 読者のページ 新築・リフォームをお考えの方へ朗報です！

(4)「弘済会のご案内」	4月	31,000部発行
(5)「宿泊施設の一覧」	4月	86,000部発行
(6)「弘済会事業一覧」	4月	91,500部発行
(7)ポスターカレンダー	4月	3,190部発行
(8)「夏クイズ2024」	6月	58,000部発行
(9)卓上カレンダー	11月	28,500部発行